

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年11月9日

上場会社名 日本ピストンリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6461 URL https://www.npr.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 彰
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 津原 直浩 (TEL) 048-856-5011
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	28,537	3.7	2,070	37.1	2,084	23.9	1,194	3.3
30年3月期第2四半期	27,507	7.1	1,509	2.5	1,682	33.5	1,155	20.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 182百万円(△71.1%) 30年3月期第2四半期 634百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	145.19	144.32
30年3月期第2四半期	140.50	140.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	66,676	32,110	47.0	3,812.15
30年3月期	66,097	32,482	48.1	3,865.23

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 31,352百万円 30年3月期 31,789百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
31年3月期	—	30.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	1.9	4,100	5.4	4,100	△2.1	2,400	5.0	291.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	8,374,157株	30年3月期	8,374,157株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	149,793株	30年3月期	149,666株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	8,224,425株	30年3月期2Q	8,225,021株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や中国における政策の不確実性や通商問題等による先行き不透明感があるものの、中国をはじめとするアジア新興国及び欧米を中心に緩やかな回復基調で推移しました。また、我が国経済におきましても、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費にも持ち直しがみられ、緩やかな回復が続きました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、中国を含むアジア等の新興国での需要拡大により世界の生産台数が増加基調にあること等から、売上高は285億37百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

損益面におきましては、原材料の高騰影響等があったものの、増産や原価低減の効果等により、営業利益は20億70百万円（前年同四半期比37.1%増）、経常利益は20億84百万円（前年同四半期比23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億94百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次の通りであります。

① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、欧州及び中国を含むアジア等の新興国向け製品の受注増加等により、売上高は244億4百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、セグメント利益は22億70百万円（前年同四半期比28.8%増）となりました。

② 舶用・その他の製品事業

舶用・その他の製品事業は、産業機械向け製品等の需要拡大を受け、売上高は13億9百万円（前年同四半期比24.2%増）となり、セグメント損失は1億18百万円（前年同四半期はセグメント損失1億20百万円）となりました。

③ その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、28億24百万円（前年同四半期比7.2%増）となり、セグメント利益は1億73百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、5億78百万円増加し、666億76百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」の増加7億27百万円、「たな卸資産」の増加3億3百万円に対し、「投資有価証券」の減少3億75百万円、「有形固定資産」の減少4億9百万円があったこと等によるものであります。

(負債)

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ、9億51百万円増加し、345億65百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」の増加11億75百万円、「営業外電子記録債務」の増加5億63百万円に対し、「有利子負債」の減少5億93百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ、3億72百万円減少し、321億10百万円となりました。これは主に、「為替換算調整勘定」の減少7億20百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少2億62百万円に対し、「利益剰余金」の増加6億18百万円があったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて1億71百万円増加し、50億83百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは34億97百万円の収入（前年同四半期は21億46百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が19億76百万円となり、減価償却費が19億円あったものの、売上債権が9億53百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは18億5百万円の支出（前年同四半期は27億1百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出16億34百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは13億72百万円の支出（前年同四半期は4億73百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金が8億13百万円増加したこと、長期借入金を15億53百万円返済したこと、また配当金を5億75百万円支払ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました予想値から変更はありません。なお、第3四半期以降の為替レートは、1USドル105円、1ユーロ128円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,911	5,083
受取手形及び売掛金	11,953	12,680
たな卸資産	9,267	9,571
その他	1,280	1,290
貸倒引当金	△57	△57
流動資産合計	27,355	28,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,216	8,972
機械装置及び運搬具（純額）	13,492	12,936
土地	5,206	5,182
建設仮勘定	1,571	2,006
その他（純額）	939	918
有形固定資産合計	30,425	30,016
無形固定資産		
無形固定資産	726	779
投資その他の資産		
投資有価証券	5,910	5,535
退職給付に係る資産	887	919
繰延税金資産	546	614
その他	249	247
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	7,589	7,311
固定資産合計	38,741	38,107
資産合計	66,097	66,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,394	4,570
電子記録債務	4,273	4,468
短期借入金	4,535	5,514
1年内返済予定の長期借入金	2,936	2,876
リース債務	98	101
未払法人税等	556	470
設備関係支払手形	252	281
営業外電子記録債務	1,561	2,124
その他	4,339	3,960
流動負債合計	21,947	24,367
固定負債		
長期借入金	8,550	7,042
リース債務	295	288
繰延税金負債	412	462
退職給付に係る負債	2,285	2,284
その他	123	119
固定負債合計	11,666	10,198
負債合計	33,614	34,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	13,533	14,151
自己株式	△329	△329
株主資本合計	28,918	29,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,058	2,796
為替換算調整勘定	681	△38
退職給付に係る調整累計額	△869	△942
その他の包括利益累計額合計	2,871	1,815
新株予約権	74	94
非支配株主持分	619	663
純資産合計	32,482	32,110
負債純資産合計	66,097	66,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	27,507	28,537
売上原価	21,162	21,693
売上総利益	6,344	6,844
販売費及び一般管理費	4,834	4,774
営業利益	1,509	2,070
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	110	87
為替差益	72	—
その他	143	110
営業外収益合計	333	204
営業外費用		
支払利息	90	95
為替差損	—	27
その他	69	68
営業外費用合計	160	190
経常利益	1,682	2,084
特別損失		
減損損失	—	108
特別損失合計	—	108
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,976
法人税、住民税及び事業税	496	609
法人税等調整額	△36	105
法人税等合計	460	714
四半期純利益	1,222	1,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155	1,194

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,222	1,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△262
為替換算調整勘定	△441	△743
退職給付に係る調整額	37	△72
その他の包括利益合計	△588	△1,078
四半期包括利益	634	182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589	138
非支配株主に係る四半期包括利益	44	44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,976
減価償却費	2,081	1,900
減損損失	—	108
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	130	△2
受取利息及び受取配当金	△117	△94
支払利息	90	95
為替差損益(△は益)	△72	27
売上債権の増減額(△は増加)	△1,620	△953
たな卸資産の増減額(△は増加)	71	△534
仕入債務の増減額(△は減少)	△25	1,572
その他	247	56
小計	2,471	4,153
利息及び配当金の受取額	117	94
利息の支払額	△90	△94
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△352	△655
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,146	3,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,627	△1,634
無形固定資産の取得による支出	△66	△163
その他	△6	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,701	△1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600	813
長期借入れによる収入	163	—
長期借入金の返済による支出	△1,688	△1,553
配当金の支払額	△533	△575
その他	△68	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	473	△1,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90	171
現金及び現金同等物の期首残高	4,634	4,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,543	5,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	舶用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,818	1,054	24,873	2,633	27,507	—	27,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,818	1,054	24,873	2,633	27,507	—	27,507
セグメント利益又は 損失(△)	1,762	△120	1,642	169	1,811	△301	1,509

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△301百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	舶用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,404	1,309	25,713	2,824	28,537	—	28,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,404	1,309	25,713	2,824	28,537	—	28,537
セグメント利益又は 損失(△)	2,270	△118	2,152	173	2,325	△254	2,070

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△254百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間の「自動車関連製品事業」において、経営環境の変化に伴う収益性の低下等により、減損損失を108百万円計上しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

なお、前連結会計年度に係る連結貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の表示となっております。

3. 補足情報

平成30年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり行うことを決定しております。1株当たりの配当金につきましては、平成30年5月11日に開示しました配当予想から変更ありません。

	決定内容	直近配当予想 (平成30年5月11日公表)
基準日	平成30年9月30日	同左
1株当たり配当金	30円00銭	同左
配当金総額	246百万円	—
効力発生日	平成30年12月6日	—
配当原資	利益剰余金	—